

令和3年度事業計画

1. 基本方針

平成23年（2011年）から10年間、第1次の中長期計画『設立40周年へのマスタープラン』を基に事業を進め、当センターの事業は大きく拡大しました。次の10年に向けて、第2次の中長期計画を策定し、『高齢者が社会の担い手として、生涯現役で活躍することの出来る幸せな長寿社会の創造』を目指すべきビジョンと定め、事業を進めてまいります。

次の10年後の令和13年（2030年）頃には全国民の32.1%、3人に1人が65才以上となります。

また、この10年間センター事業を支えた団塊の世代の子世代『団塊ジュニア』が60才を迎えセンターに参加出来る時代になります。高齢者層が求める価値観が益々多様化する中、シルバー人材センターが、その多様なニーズに応じた事業運営に取り組む必要が有ります。

会員の就業のスタンスも、従来の「生きがい就業や健康維持のための就業」、「ライフワークにあった働き方」に加え、「生活を支える就労」「ダブルワーク」など10年後のシルバー事業を見据えて、柔軟な対応をしなければなりません。

多くの高齢者が活躍できる社会実現に向けて、労働力としての地域社会の支え手、地域福祉の担い手として、私たちが最も得意とする動員力を発揮し、イベントへの協力・協賛やボランティア活動を通じて社会に参画し、豊かな経験と知識を持つ我々高齢者が活躍できる場所を開拓して参ります。

定年延長など社会環境の変化や高度情報化社会に柔軟に対応し、地域の特性を活かした戦略的な事業や、多くの会員と協働した「魅せるセンター」に取り組み、新たな時代の先進的なシルバー人材センター事業の活躍事例『新かどまモデル』を確立させ、生涯現役を目指す全ての高齢者を支援して参ります。

2. 『新かどまモデル』の実現

事業の現状を分析し、より戦略的な事業の革新を目指します。

- (1) 会員数を増やす
- (2) 就業機会を拡大する
- (3) 魅せる広報活動を進める
- (4) 安全就業・健康維持を推進する
- (5) 公益社団法人として統治・管理を強化する

3. 令和3年度事業運営方針と数値目標

基本方針に基づき、以下の令和3年度の事業運営方針と数値目標の達成を目指します。

[1] 事業運営方針

- ① 『魅せる広報』をキーワードとして、イベント参画やボランティア活動等様々な事業を通して、シルバー人材センター活動の意義である「就業を通じ健康寿命を延ばす」こと、並びに元気な高齢者の活躍の周知・啓発に努めます。

- ② 不足する『労働力の供給』と、市民の身近で『地域を支える』がセンター事業の2本柱になります。高齢者の就業ニーズ、個々が持っているスキル・経験・資格をフルに発揮できるための新たな就業の創出、市内に眠っている人材の発掘に力を入れてまいります。
- ③ 就業をベースに、「地域貢献」・「健康増進」・「仲間づくり」と、高齢者の生きがい、やりがいを育成し、みんなが『楽しい』を実感できる事業を目指します。

[2] 数値目標

事業運営方針に基づき、令和3年度の数値目標を以下に設定し、必達を目指します。

1. 正会員数

	令和3年度 (目標)	令和2年度 (実績)	令和2年度 (目標)
正会員数(人)	1,800	1,656	1,800
【内】新入会者	250	171	280

2. 契約件数

	令和3年度 (目標)	令和2年度 (実績)	令和2年度 (目標)
受託事業(件)	4,800	4,340	5,000
派遣事業(件)	500	445	420

3. 契約金額

	令和3年度 (目標)	令和2年度 (実績)	令和2年度 (目標)
受託事業(千円)	400,000	386,681	410,000
派遣事業(千円)	320,000	292,391	310,000

4. 就業率(請負+派遣)

	令和3年度 (目標)	令和2年度 (実績)	令和2年度 (目標)
就業率(%)	90	85	90

5. 就業実人員

	令和3年度 (目標)	令和2年度 (実績)	令和2年度 (目標)
受託事業(人)	1,300	1,211	1,300
派遣事業(人)	500	446	500

6. 就業延人員

	令和3年度 (目標)	令和2年度 (実績)	令和2年度 (目標)
受託事業(人)	120,000	111,933	122,000
派遣事業(人)	60,000	55,647	56,000

4. 具体的実施計画

【1】会員数を増やす

(1) 入会促進

1、入会説明会の開催

- ・入会説明会を毎月原則センター会議室（毎月原則10日・弁天池公園管理事務所（25日）、市民プラザの3か所で年間36回開催します。
- ・センターの理念・事業方針を示す入会説明資料や、会員のしおりを刷新し、新入会員の理解度をアップします。
- ・WEB入会を目指し、入会説明動画の作成を試行します。

(四半期ごとの入会説明会参加目標)

参加者数（人）	第1期	第2期	第3期	第4期
令和3年度各期末目標	85	70	85	50
令和2年度実績	29	60	58	45

2、新入会員研修会及び体験就業の実施

- ・入会説明会に参加され入会を希望された方に対し、当センターの組織・運営・規約などの研修会を毎月3回（年36回）開催いたします。
- ・入会后すぐに就業についていただけるように、体験就業を毎月3回（年36回）実施します。
- ・会員の就業風景や就業体験などの動画作成を検討し、新人教育訓練に活用します。

(四半期ごとの参加者目標)

参加会員数（人）	第1期	第2期	第3期	第4期
令和3年度各期末目標	70	70	70	40
令和2年度実績	33	57	60	33

3、多種多様な年齢層へのアプローチ

- ・市役所ロビー等の公共施設や企業訪問でのPR活動を図ります。
- ・女性活躍推進委員会を中心とした女性会員の拡大を図ります。
- ・体験就業会や技能講習会などを開催し入会促進に努めます。
- ・ホームページや機関紙等で多様な就業の内容を公開し、情報公開に努めます。

4、口コミによる入会活動

- ・イベントやボランティア活動での入会促進活動を図ります。
- ・入会促進キャンペーンを実施し会員紹介での入会促進を促します。

(2) 魅力的なセンターづくり

1、満足度の向上

- ・在会5年、10年の会員に対する聞き取りアンケート、現況調査を引き続き実施し、長期在会会員の満足度を向上させます。
- ・在会2年未満の会員を重点的に、聞き取り調査就業相談会を実施します。

2、ポイント制度

- ・センター事業への貢献度（ボランティアやイベントボランティア参加者等）に対し、ポイントを付与が出来る制度設計を図ります。
- ・ポイント制度の会員への還元策として、フレンドリーショップの活用を検討します。

3、インターネット、SNS の活用

- ・ホームページを活用しシルバー事業を広報し、新たな会員の獲得を目指します。
- ・シルバーアプリの開発や、IT 導入により、事業運営や会員サービス向上を図ります。

【2】就業機会を拡大する

(1) 生きがい就業の推進

1、受託事業

- ・指揮命令が生じない完成が見込める業務については、積極的に請負・委任契約による就業機会の拡大に努めます。
- ・会員の平均年齢の上昇に伴い、高年齢の会員の方でも取り組める、より軽易な就業の確保に努めます。
- ・簡易作業所を立ち上げ、就業を希望するすべての会員に簡易な就業を提供します。
- ・職域ごとにコーディネーター会員を擁立し、発注者のサービス向上に努めます。

(四半期ごとの目標)

受託事業契約金額（千円）	第1期	第2期	第3期	第4期
令和3年度各期末目標	91,000	102,000	114,000	93,000
令和2年度実績	87,394	97,886	109,685	91,719

2、労働者派遣事業

- ・請負・委任に馴染まない指揮命令が生じる業務については、派遣契約による就業機会の拡大に努めます。
- ・新たに派遣により就業を行う会員に対しては入職時訓練を実施します。また、一定期間派遣就業を行なっている会員に対しては、キャリアアップ教育訓練を実施します。
- ・派遣法の改正に準拠し、派遣労働会員の均衡・均等待遇に対応します。

(四半期ごとの目標)

派遣契約金額（千円）	第1期	第2期	第3期	第4期
令和3年度各期末目標	77,000	80,000	83,000	80,000
令和2年度実績	70,368	73,211	76,490	72,323

3、創意工夫事業

- ・地域での活動の場を拡大する為、移動『便利やDay』を事業化し、特に個人家庭の「お困り事」の解決に尽力します。
- ・現在センターで活動している施設をより有効活用し、新たな創意工夫事業を創出し、強化に努めます。

①訪問介護事業、総合支援事業

福祉事業の核となる事業とするため、介護初任者研修を終了した人材を広く募集し、

会員として訪問介護・総合支援事業に従事するよう努めます。

(四半期ごとの目標)

創意工夫事業契約金額 (千円)	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期
令和 3 年度各期末目標	4,000	4,000	4,000	4,000
令和 2 年度実績	2,482	3,069	4,281	3,993

②第 2 層生活支援事業

門真市と第 1 層生活支援事業者と連携し巣ごもりの方に、外出を促す独自の通いの場として、地域出張型サロンを開催し地域交流の拡大に努めます。また、利用者のニーズに応じた介護予防体操や団欒や相談の窓口としての事業に努めます。

年度	令和 3 年度 (目標)	令和 3 年度 (目標)	令和 3 年度 (実績)
通いの場の数 (箇所)	15	15	9

③福祉有償運送事業

要介護や障がい等で外出困難者の支援の為、福祉有償運送事業を継続して実施します。

(四半期ごとの目標)

福祉有償事業契約金額 (千円)	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期
令和 3 年度各期末目標	400	400	500	600
令和 2 年度実績	348	506	524	486

④福祉作業所事業

就業を希望するが、体力に自信がない方やスムーズな歩行が困難な方、またスケジュールに制限がある方に対し、会員として就業の機会を図ります。

(四半期ごとの目標)

福祉作業所事業契約金額 (千円)	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期
令和 3 年度各期末目標	250	345	370	395
令和 2 年度実績	233	323	341	289

⑤喫茶事業

空き店舗を利用した高齢者が集うことが出来る喫茶事業を引き続き実施します。また、会員の手作り作品や地域の農作物、また他市シルバーの物品を販売することが出来るアンテナショップとして利用を促進します。

(四半期ごとの目標)

喫茶事業契約金額 (千円)	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期
令和 3 年度各期末目標	1,000	1,000	1,000	1,000
令和 2 年度実績	1,078	931	961	674

⑥農園、農業事業

市の協力を基に、現在の柳田町・岸和田町の市内 2 か所のシルバー市民農園事業運営を継続するとともに、新たな農園や伝統野菜「蓮根」栽培用農地の拡大に努めます。

(四半期ごとの目標)

農園・農業事業収入金額(千円)	第1期	第2期	第3期	第4期
令和3年度各期末目標	250	40	600	400
令和2年度実績	54	45	991	572

⑦指定管理事業

センターの管理施設「弁天池公園」を、市民の交流スペースとして安全・安心を徹底し、市民から愛される公園として引き続き適正管理に努めます。また、新たにセンターが活躍できる事業の指定管理事業者の募集があれば、積極的に応募いたします。

(2) 質の向上

1、講習会研修会の開催

- ・技術を要する業務や作業手順の確認を行うために独自の講習会を図ります。
- ・大阪府シルバー人材センター協議会河北ブロック地区主催の技能講習(植木剪定講習会・刈払機講習会・安全講習会など)に参加し、技術・技能の向上に努めます。
- ・職域班による研修を充実させ、就業の質の向上・安全確保・トラブル防止を図ります。

2、利便性の向上

- ・シルバーアプリの構築やホームページの活用により、就業情報を掲載し就業機会の拡大を目指します。
- ・具体的な職種ごとの価格表を作成し、ホームページ等に公開します。
- ・お客様アンケートを実施し、業務改善を行い満足度の向上を目指します。

【3】魅せる広報活動を進める

(1) イベント関係

コロナ禍でのイベント開催指針を策定し、安全安心の開催に努めます。

1、独自イベントの開催

- ・弁天池公園イベント実行委員会を組織し、指定管理施設「門真市立弁天池公園」で、ふれ愛感謝祭(11月23日)を開催します。
- ・シルバー便利やDay(毎月第1・第3月曜日)をセンター事務所前にて開催いたします。

2、他団体との協働

- ・門真市民プラザで行う「プラザ de 門真もん市」(毎月第2日曜日)を共催いたします。
- ・「ふるさと門真まつり」の実行委員会に参画し、ボランティア活動や模擬店の出店等のイベント開催に協力します。
- ・地方公共団体や、市民団体、企業団体、NPO等が開催するイベントに参加しシルバー人材センター事業の普及啓発に努めます。

(2) ボランティア活動

1、清掃ボランティア活動

- ・清掃ボランティア活動として、弁天池公園清掃活動(毎月第1土曜日)市内清掃活動(毎月第3土曜日)を実施します。

- ・門真市主催の「キラッと門真市内一斉清掃」に参加します。
- ・地域班主体の清掃ボランティア活動を実施します。

2、協賛によるボランティア活動

- ・「古川橋ラブリーフェスタ・スプリングフェスタ」、「かどま市スポーツ・レクリエーションフェスティバル」等、門真市の活性化を担う活動に参加します。
- ・センターの魅力を発信するため、市外で開催するボランティア活動に参加します。

(3) 魅せる広報活動

1、広報活動

- ・門真市の活性化を担う活動に協賛しセンターの動員力を活かし魅せる広報活動に努めます。
- ・地域支援活動（第2層生活支援、福祉有償運送）や門真市特産物「レンコン事業」など、門真市シルバー人材センターの独自性がある事業を広くアピールします。

2、機関紙やマスメディアの活用

- ・テレビやラジオ、新聞などに積極的に働きかけ、センターの活動や魅力を広報します。
- ・機関紙「門真市シルバー人材だより」の発行を10月号広報に折込し全戸配布いたします。
- ・年6回週刊大阪日日新聞に記事広告を掲載し会員の活躍を広報します。
- ・生涯現役で就業活動が出来る魅力をSNSやホームページで広報します。

【4】安全就業・健康維持を推進する

(1) 安全就業の推進【事故0のために】

1、作業手順のマニュアル化

- ・職種ごとの作業手順書の作成に努めます。
- ・マンション清掃など類似した作業については、映像によるマニュアルの作成を図ります。
- ・事故の再発防止のため事故内容を検証し、再発防止対策に努めます。

2、安全講習会及び講習会の開催

- ・門真警察署の協力を得て、自転車運転講習会を開催します。
- ・運転業務を希望する会員に対し、自動車安全運転講習を実施します。
- ・安全就業推進委員会による安全パトロールの充実を図ります。
- ・各講習会や研修会の際に救急救命講習を開催し、職場の安全性を高めます。

(2) 自己健康管理、健康診断の推進

1、会員健康維持の取り組み

- ・市民健康診断の積極的な受診を推奨します。
- ・企業や大学等との連携による健康度の測定や軽度の認知機能低下や介護予防に関する研究に参画し、会員の健康維持を図ります。

2、福利厚生の充実

- ・公認同好会組織と連携し、会員募集や活動支援するとともに、新たな同好会の発足のお手伝いをします。
- ・会員の事業貢献度をポイント化する制度を整備し、会員に付与したポイントが還元される制度の構築を目指します。

【5】公益社団法人として統治・管理を強化する

(1) 法人運営

1、コンプライアンスの徹底

- ・法令及び定款、諸規定に従い法人の活動状況を広く周知し事業の充実を図ります。
- ・理事会の決定に従い、迅速かつ的確に業務を遂行します。
- ・公益社団法人として、会計基準に基づいた適正な会計処理に努めます。
- ・個人情報を守り、情報公開の適切な運用を実施します。
- ・人権を尊重し、ハラスメント等に対しては迅速、適切に対処します。

2、適正就業の推進

- ・「臨時的かつ短期的、又はその他の軽易な業務」については、法令で定められた時間内での業務を受注いたします。
- ・「自主・自立、共働・共助」の基本理念に基づいた就業を促進する為、グループのローレションやワークシェアでの就業を推進します。

(2) 組織・運営体制の強化

- ・理事会、三役部会長会議を中心にした運営体制を強化します。
- ・市内で活躍する人材を会員として迎え入れ組織強化を図ります。
- ・会員の知識、経験、経歴等を参考とし、シルバー事業の運営に参画できる人材の発掘に努め、積極的に委員に登用することで、部会・委員会の活性化を促します。

① 地域班

現在の4ブロック17地域班体制を門真市立中学校地域割りの6班体制に変更し、よりシルバー人材センターと地域が連携を保てる組織を目指します。また、地域を担える人材を発掘し、企業OBの地域デビューを支援します。

② 職域班

お客様アンケートで満足度の調査を実施し、職種別の問題点の掘り起こしや適正価格の設定と開示を図ります。また、現在の職域班10班の体制を見直し、優先順位を付けて職域班の再編を行います。